

# 湯之見に国民宿舎

収容人  
員百人 来年度から二年計画

水俣市では湯之見温泉に「国民宿舎」を建設する計画で、橋本市長が国、県との折衝を進めていたが、ほぼ確定したので、起債の決定をまつて来年度から二カ年の継続事業で着手することになった。

計画によれば、鉄筋コンクリート地下一階、地上二階建て（一部

三階）延べ千六百八十七・九平方

坪。地階（二百五十七・二平方

坪）は男女大衆浴場各一室、家族

浴場二室のほかボイラー室、洗たく

室など。一階（七百九十・二平方

坪）は六十三畳の大広間をはじめ

め、ロビー、食堂、売店、娯楽

室、会議室。二階（六百二十七平

方坪）は六畳（三人室）十四、十

二畳（六人室）四、二十一畳（十

一人室）一、九畳（五人室）二、

屋上はカーテンになっている。収

容人員は百人。同市長は「全国で

も有数なデラックス宿舎にした

い」といつているので、総工費は

約六千五百万円になる見込み。う

ち四千万円は国民年金保険の還元融資をあてる計画で、宿舎の経営は独立会計となる。付近は県立公園の葦北海岸一帯に含まれた風光明媚な台地で、鹿児島本線および一般国道三号線からも近く、完成すれば温泉をもった見事な国民宿舎が誕生することになる。